

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード		3-4-2		事業名	市民交流広場活用事業
担当	厚別区市民部地域振興課 河野 憲義 (895-2400)				
全 体 計 画 (当 初)					
事業内容	○区の貴重な財産である「市民交流広場」を活用した事業を展開し、市民の交流を促進する。 ○事業の主体は企業か団体とし、区はコーディネートの立場で支援する。 ○事業の内容は、交流目的のステージイベントや飲食、物販など多方面にわたるようにしたい。		<年度別の事業内容>		
			16年度：検討委員会の開催 17年度：「新さっぽろ冬まつり」の開催 18年度：「新さっぽろ冬まつり2007」の開催		
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）		
	○副都心周辺の企業で結成している清掃ボランティア団体「クリーンアップ倶楽部あつべつ」において「企画会議」を設置、開催（計5回） ○会議での検討の結果、広場利用の少ない冬場のイベントとして、「新さっぽろキャンドルナイト」と題して市民交流ひろばを舞台にスノーキャンドルイベントを試行的に実施した。 ○イベントにはクリーンアップ倶楽部あつべつ参加事業所のうち8事業所がキャンドルの作成等に参加。また、コミュニティFM（FM新さっぽろ）や北星学園大学、厚別区子ども会など事業所以外からも参加を得た。 ○イベントでは約700個のスノーキャンドルを作成したほか、雪だるま型のかまくら「おやすみ雪だるま」を製作し、来場した区民から好評を博した。		○「新さっぽろキャンドルナイト」の内容を拡充し、新さっぽろの市民交流ひろばと厚別区民センターを中心に、観光客や子育てファミリーなど、幅広い市民が手作り感覚で札幌の冬を楽しむことのできるイベント「“新”さっぽろ冬まつり」を開催した。 ○イベントでは、厚別区まちづくり協議会などの場を活用しながら、実行委員会形式により幅広い区民の主体的な参加を得た。 ○「気軽に雪に親しむ」ことをコンセプトに楽しいイベントとすることはもちろん、子育てや芸術文化などの要素も組み込んだ。 ○おやすみ雪だるま滑り台、イグルー制作体験、雪中宝探し、厚別イベントキャラクター決定、雪のスクリーン、バンド演奏やチアダンス、キャンドルアートコレクション、絵本の読み聞かせなど盛りだくさんな内容となった。		
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評 価 (成 果)		
	○実行委員会の下に、学生や副都心周辺事業所、区PTA連合会等の参加者からなる「企画会議」を設置し、ワークショップ方式による検討・準備を進めた。 ○資金面での自立を目指す第一歩として、協賛団体の募集を実施し、協賛金や物資の提供、協賛事業などと呼びかけたほか、オリジナルグッズの販売も行った。 ○にぎわいを演出するため、会場機能の集約や新たなイベントの実施、PR活動に力を入れた。		○区子ども会連絡協議会が会場の一部の運営を担うなど、今後市民が主体的に関わっていくための素地ができた。 ○まつりの企画・準備・運営に携わった区民が延べ800人に上り、関係団体や事業所、大学生のほか、高校生、小学生、保育園園児なども関わるようになり、区民参加が広がりつつある。 ○平成18年度は、2月2日（金）～4日（日）にふれあい広場あつべつや区民センター、サンピアザ劇場の3会場で、約2万人が訪れた（H17年度は1万人）。		
事業内容（量・場所・規模等）			課 題		
			○まつりの準備・運営を主体的に担う団体やスタッフがまだ不十分である。 ○協賛事業等を行なったが、資金がまだ不十分である。 ○近隣市との連携が不十分である。		
19年度以降の方向性・事業の予定					
○まちづくりに携わる人と人とのつながりを広げ、深めながら、イベント活動を通じて住民自らがスキルやノウハウを向上させ、「市民が主役のまちづくり」を目指す。 ○まつりの運営を主体的に担う地域団体や企業数を増やすとともに、協賛事業を充実させながら、「参加型」のイベントとしてさらなる定着・自立を図る。 ○まつりの規模はH18年度実績をベースに進める。					

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 (単位:千円)

施策体系コード		3-4-2				事業名		市民交流広場活用事業		
事業費の推移										
項目			16年度		17年度		18年度		計	進捗率(%)
計画	事業費		0		0		0		0	—
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0	—
		市債	0		0		0		0	—
		その他	0		0		0		0	—
		一般財源	0		0		0		0	—
実績	事業費		0		3,600		3,000		6,600	—
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0	—
		市債	0		0		0		0	—
		その他	0		0		0		0	—
		一般財源	0		3,600		3,000		6,600	—
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)										
【試行実施の結果、一定の事業効果が見込まれたことから平成17年度より予算計上して執行した】 冬場の利用が少ない市民交流広場の有効活用を図るため、平成16年度に「新さっぽろキャンドルナイト」と題したイベントを試行的に実施した。その結果、地元事業所のほか、コミュニティFMや北星学園大学、厚別区子ども会などの参加を得て、区民からも好評だったことから、①イベントを通じて多様な市民グループや組織、学生等が共に携わることで、互いに理解し合える土壌を育みまちづくりの輪を広げるため、②冬季イベントを通じて厚別区への愛着を育み副都心の賑わいづくりにつなげるため、平成17年度より、元気なまちづくり支援事業の「区からの提案事業」として予算計上し、「新さっぽろ冬まつり」を開催している。										
主な施設、サービス等の整備水準										
項目			15年度末 (現状)		16年度末 (実績)		17年度末 (実績)		18年度末 (実績)	18年度末 (目標)
関連予算事業内訳										
予算事業名(小事業名)					経・臨 臨時	枠内外 枠内	16年度	17年度	18年度	計
元気なまちづくり支援事業費								3,600	3,000	6,600
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0